目標は東京オリンピック

活躍した陸上水泳の王者

大串、岡本、早川の三選手

大串選手

岡本選手

インドネシアの首都ジャカルタで開かれました第四回アジア大会でいろいろな問題を残しました日本選手団は、数々の好記録をつくって金メダル七三、銀メダル六六、銅メダル三三個をおみやげに帰国しました。

中でも富士市からは若冠十五才という富士中学校の早川一枝選手（水泳）をはじめ旭化成工業株式会社の大串啓二（四百米ハードル）岡本登（ハンマー投げ）の両選手の活躍はめざましいものがあり、大串、岡本選手はアジア大会新記録を樹て堂々一位に入り銀メダルを獲得しました。

以下、大串、岡本、早川三選手の最近の記録を参考までに記してみました。

◇大串啓二28四百米ハードル
最高記録　四八秒一
第四回アジア大会記録
五二秒二
（大会新記録）

◇岡本　登(25)　ハンマー投
最高記録　六六米四八
（日本新記録）
第四回アジア大会記録
六三米八八
（大会新記録）

◇早川一枝(15)　水泳
四百米　五分二秒六
八百米　十分二三秒二
千五百米　二二分九秒四
（いずれも日本新記録）

水泳の早川〝嬢〟

四百、八百千五百米に日本新記録

金、銀メダルを胸に漆畑市長と握手する早川選手

水泳の早川一枝選手は、富士中学3年生で現在、四百米自由形をはじめ八百、千五百米と三つの日本記録を持っております。

第四回アジア大会には、水泳競技の女子四百米自由形に出場、5分9秒6の日本新記録を出し惜しくも米村トヨ子選手に破れましたが銀メダルに輝きました。

また早川選手は、本年六月十六日静岡市で開かれた〝オール静岡〟と〝オール明治の対抗戦〟で千五百米にも出場してタイム21分9秒4の日本新記録、続いて去る七月二十日大阪で開かれた全日本水上選手権大会には八百米に10分93秒2というこれまた日本新記録を打ち樹てていまや水泳界の王者として今後の活躍が大いに期待されております。

もちろんこの早川嬢の好記録の陰には富士中の名コーチ田中正一先生の親身もおよばぬ努力にほかならないと思います。

今後は目標を〝東京オリンピック〟におき四百米で5分のカベを破るためスタミナと泳法にもつばら力を入れていきたいと田中先生は語ってくれました。

「健康優良児」決る

代表6名が県東部大会へ

昭和三十七年度の〝優良健康児〟をきめる赤ちゃんコンクールは去る九月五日から十七日までの七日間、市内五会場でそれぞれ実施しました。

対象児は、昭和三十六年四月一日から昭和三十七年三月三十一日までに生まれた満一才と満二才六カ月の赤ちゃん約五〇〇名が篠竜な審査を受けました。

発育状況は年々向上し、いずれも全国平均を上回る健康優良児ばかりで、お母さんたちが熱心に育児した努力がうかがわれました。

また審査にあたつた市立中央病院の先生も採点には、たいへん苦労した結果、十五名が晴れて富士市の健康保険優良児に決定しました。（十一月号に掲載）

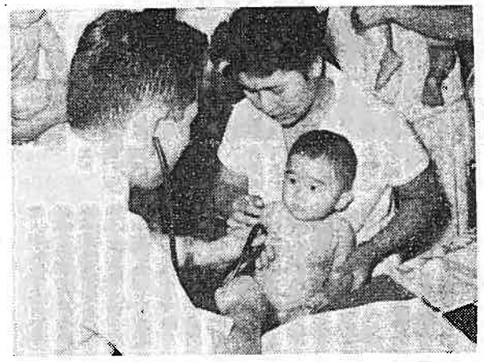
なお市では、九月二十九日午後一時から儀場で入賞した赤ちゃんコンクールの表彰式を行ないうち六名が富士市代表として十月四日三島市で開かれる東部大会に出場することになつています。

また参考までに満一才の全国平均の基準はつぎのとおりです。

◇男　① 体重　八・九五K
　　② 身長　七二糎七

◇女　① 体重　八・四六K
　　② 身長　七二糎一

◇健康保険優良児
▽富士田耕作（勝長男）柚木十
▽佐野洋美（嘉信長女）柚木十二
▽村松智英（豊　長男）東宮島三
▽米山恵子（肇　二女）東田二
▽石川英喜（勝己長男）上横割三
▽杉沢ちづる（清孝長女）本市場七
（以上六名が県東部大会へ出場）



赤ちゃんコンクール審査風景

正しい歩行の指導

秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動は、十月十一日から十月二十日までの十日間にわたつて実施されます。

いうまでもなく、この運動はすべての国民に正しい交通のあり方と、交通安全の思想を周知させ交通道徳の高揚と交通秩序の確立をはかるためのものであります。

そこでまず実施目標は

①正しい運転の遵守
②正しい歩行の励行
③児童、幼児の安全確保
④雇用者等の義務観念の向上
⑤交通環境の整備
⑥踏切道の安全通行の徹底

の六項目をあげこれらを強力に推進することになりました。

一方、富士鷹岡地区交通安全対策協議会では、とくにこの期間中、ラッシュアワー時の街頭交通指導をはじめ交通事故防止の座談会や映画会などを開き事故防止について積極的に市民に呼びかけます。主な実施計画はつぎのとおりです。

◇PR活動
(1)管内の各幼稚園、小中学校生徒児童全員にクイズ入りの広報紙をくばり各家庭へ持参させる。
(2)管内の小中学校生徒に対して期間前にポスター作成を依頼各町内部落に掲示する。

◇街頭指導
期間中十日間午前七時から同八時三十分までの通勤通学時に、（鷹岡五ケ所延二三〇人、富士二〇ケ所延二、〇〇〇人を予定）街頭指導を行う。

◇交通モデル教室
期間中、管内の教室、町内、各種団体の希望により交通安全の映画会または講習会を開く。

◇交通事故防止座談会
富士、鷹岡地区各二回、各関係者代表と交通事故防止について座談会を開催する。

◇その他
この期間中、官公署および工場事業場の正門に「全国交通安全旬間」の立看板を立てるほかポスターの掲示を自発的に行う。

なお交通安全運動に関する照会、連絡などは富士警察交通課、鷹岡派出所、富士市、鷹岡町の教育委員会へご一報ください。

富士市社会福祉協議会のあらまし

富士市社会福祉協議会（会長漆畑五六）は、昭和二十九年五月発足して以来、防貧対策をはじめ老人福祉および社会を明るくする運動を推進し各種社会事業者間の連絡調整を実施してあらゆる社会問題を円滑に処理しております。

現在会員でない方も、一人でも多くこの趣旨にご賛同いただき会員に入会されますようお願いします。会費は年間百円です。

参考までに昭和三十六年度富士市社会福祉協議会の歳入歳出決算はつぎのとおりです。

昭和36年度歳入歳出決算状況

歳入の部

目	予算額	収入額	摘要
会費	40,000	37,500	
交付金	250,000	250,000	
配分金	408,840	408,840	共同募金配分金
寄附金	545,000	561,829	歳末たすけあい募金、一般寄附金、その他
雑収入	104,000	104,970	
繰越金	900,000	299,047	
合計	1,647,840	1,661,580	

歳出の部

目	予算額	支出額	摘要
事務費	120,000	55,600	祝学末
事業費	1,060,000	892,554	三見歳護
諸費	45,000	96,460	五会、七社会、援校旅行、あい敬老会、中学修学旅行、小及たすけ
予備費	422,840	0	
合計	1,647,840	984,614	

昭和37年度へ繰越金　676,966円

市民の声

道路の拡巾についてお願い

市役所正門前の東西にのびる道路についてお伺いします。

甲子神社前の交差点は、よく交通事故が発生しておりますので同交差点から市役所正門までの北側道路を削つて見通しをよくしていただきたい。

聞けば甲子神社南側は、官有地でありますので出来得れば近近道路を拡巾し、交通の緩和をはかつて欲しい。

また希望事項として区画整理事業計画によりますと、

①役所正門前の東西にのびる道路は、巾員十一米になるようですが、必ず歩道を設置してください。

②第二区は減歩率二十五%となつており、第一区の十八%に比べ甚だ多くてこまりますので市役所の土地その他の土地を整理対象としていただきたい。　一一市民一

（答え）

甲子神社敷地は、官有地ではありません。加藤新太郎さん外五名が登記上の名儀人であつて甲子神社氏子一同の共有管理（入会財産）している土地であります。

本土地は御承知のとおり「富士駅周辺土地区画整理事業」の区域になつておりますので、本事業施行度に巾員十一米に完成されます。

つぎに「希望事項」中の歩道設置のことですが、道路構造令等の制約と車両の大型化等を考慮するとき巾員十五米以下の道路には歩道の設置はできません区画整理事業の減歩率について当初の全体計画（第一工区二十五%と予定しておりますが、本地区の特殊性を考慮し、関係者の負担を極力緩和いたすべく努力いたしております。

なお詳細については、実施中の確定測量完了後に決定いたします。

「川・道路」へ

ゴミ等を捨てないで下さい

最近「川」が非常に汚れています。ゴミ、厨芥、草、ヒエ等が捨てられ、都市美を損するは勿論、不衛生、不潔さが甚だしく、農業用水の灌漑上にも、管理上にも全く困却しております。

これら投入物は下流に行くに従つて量が増し、川を塞止め、川底を埋める結果となり、道路、土手の決潰、家屋浸水の原因ともなるものでありますから、絶対に捨てないで下さい。

又道路にヒエ、草が捨ててありますので、グレーダーの作業上非常な支障を来しております。作業能率を低下させないよう是非とも御協力下さい。

市民の皆様、清潔な美しい市を作るために御協力下さいます。

畜産共進会ひらく

第八回富士市の畜産共進会は十月十日午前八時三十分から市役所広場で挙行します。

出陳頭数は、乳生二十五、和牛十五、種豚（ヨークシャ）三十、種豚（ランドレース）六、鶏など合計百余点でいつれも農家自慢の折紙つきのものばかりです。

排水堀などの作物は撤去

最近の集中漆雨、台風等による出水時に危険箇所を巡回しますと土手や排水堀（平常時は干堀となつている）を耕して農作物を作付けてあるのが見受けられますが、平常は何等支障がないように見えても出水時には大きな役割を果すものですから、現在作付けてある方は必ず撤去して下さい。

決潰又は溢水ともなると人家人命は勿論折角丹精した農作物が冠水、浸水等の被害を受ける結果となり甚だ危険なことであります。

安全有利な中退金制度

そろつて加入しましよう

中小企業に働らく従業員の人たちは、賃金をはじめいろいろの労働条件が大企業に比べたいへん劣つているため、中小企業に就職することを嫌う傾向にあります。

中小企業退職金制度は、この人たちに安心して永く働いていただき、企業の発展をはかるため、法律に基づいて発足したものです。

本制度の発足以来、3年目をむかえた本年5月31日現在の全国加入事業数は 48,063 事業所、加入従業員数 66,0196人 、掛金総額約35億円に達し、また本県は加入事業数 1,704 事業所、加入従業員数20,800人となつております。

これは本県の対象従業員数の約43万人に対し約5%の加入率となつていますが、本年度より掛金の一部を福祉施設改善資金として商工中金より還元融資の道もひらかれました。こうした手軽で有利でしかも安心なこの制度により一層多くの中小企業の方たちに加入していただき労働福祉の向上をはかるため県では9月10月を中小企業退職金共済制度促進期間として運動を実施しています。

本制度のあらまし

本制度のあらましは ① 毎月の掛金は事業主の必要経費または損金扱いになり退職金は2年で元金以上、3年以上にかけた場合は5%から10%の補助金がつきますので大変有利です。

② この制度は、国の予算で経営する中小企業退職金共済事業団があたるのでつぶれる心配がなく、退職金の支給額が法律で明らかになつているので安心です。 ③ 事業主は、最寄りの金融機関に毎月掛金を払込んでおけば、従業員が退職したとき直接従業員に退職金が支給されますので、専門の係員とか特別の経費もいりません。 ④ この制度に加入できるのは、従業員 200人以下の中小企業主（商業、サービス業では50人以下）で毎月の掛金は従業員1人につき 200 円以上 1,000 円まで 100 円きざみになつています。

なおこの制度についてわからないことや知りたいことがありましたら吉原労政事務所か県庁労政課へご連絡ください。